



第9号 (2012/9/4)

広島県福山市休之田町4-3-14  
Tel&fax: 084-917-5937  
e-mail: info@comirune.com



Community Renaissance Research Centre

**『都市農業を考える連続講座』の  
第1回 福山の都市農業を考える』を  
開きました。**

新しく出来た集会室で、第1回目の『都市農業を考える連続講座』を9月1日に開きました。『福山の都市農業を考える』と題して、本会員でもある福山市立大学教授の藤井輝明さんのお話し。参加者は15名(市立大学野菜クラブの学生さん2名を含む)。その概略は次のとおりでした。

都市計画では「市街化地域内農地」はマイナスとされてきたが、果たしてそうだろうか、とまず投げかけ。福山市の農地形成は江戸時代の干拓によるものが主であるが、変化が始まったのは1961年に県、市と締結されたNKK(現在のUFJ)の誘致協定から。その変化はNKKの直近から平野部に、さらに1980年代には市内全域へと広がった。その状況を古い写真を示しながら説明。

福山市の総農家戸数は1990年から30年間で約35%減少し、なかでも専業農家数が大幅に減少。さらに市街地農業の継続は、農薬散布の難

しき、高額な多種類の農機具購入経費、高い固定資産税や相続税の負担などからなかなか難しいとの説明。

しかし農業には、①自然環境に直接触れることがもたらす人間への癒しと教育の機能、②景観や環境の保全、等の多面性があり、近年この点も注目されるようになってきていることから、締めくくられました。「市街地農業の役割を考え、保全の方法を考えてほしい。そのことが宿題です」と。

差し入れのイチジク、パン、ゴーヤジュースなどを口にしながら交流。参加者からは「夫が菜園で栽培したものを加工してコミュニケーションの場が出来たら」、「高校生と一緒に農業をやったが、若い人は収穫物の食べ方が分からない」、「思い返してみたら、自分の卒業論文は「EUの農業政策」であった」、「近くに土地があれば家庭菜園に挑戦するかも」等の声がありました。なかでも、学生さんの「自分で育てたものだと出来るだけ料理して食べたいと思うようになった」という意見が印象的でした。



**地域の絆「デイキャンプ」に参加して**

8月25日午前10時から、地域の絆で近所の子ども達を対象にした「デイキャンプ」が開かれ、これに加納が参加しました。子ども達は小学生から中学生まで15人。

行事内容は、昼食(おにぎり、野菜炒め、野菜スティック、玉葱のまるごと煮、アユの串焼き)を作成し、一緒に食べ、その後グラウンドで宝探しをしました。

子ども達は利用者さんと一緒におにぎりを握ったり野菜を切ったりしていました。利用者さん達も料理に参加している人は生き生きとされていましたし、見ているだけでも嬉しそうでした。小学2年生の子が切ろうとしている小松菜がバラバラになっているのを見て、黙って揃えている入居者の方が印象的でした。

デイサービスマスターグループホームの方達も子ども達と同じ料理を「美味しい」といって食べていらっしやいました。

待ちに待った昼食では、自分たちが関わった料理なので結構パクパクと食べていました。野菜スティックは食べないかな、と思っていましたが、ニンジン、セロリ、キュウリなどはよく食べていました。が、大根など白いものは残っていました。

最後は一生懸命宝探しをして終了。



うまく竹串がさせるかな？



利用者さんと一緒におにぎり。  
中に何を入れようかな。



お昼まだかな…。早く食べたいな。

大根・ニンジン・の種蒔き



作業予定日に雨が降るなど、大幅に遅れましたが、都合のつく人同士で草を抜いたり、畑を耕したりしました。8月28日に11月の大学祭で作る豚汁の材料にしたいと、大根、ニンジンの種をまきました。残念ながら雨が降り出し、ジャガイモを伏せるのは出来ませんでした。

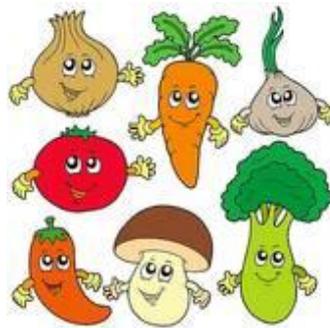
編集後記

今回は、少ない時間の中の作業だった為、自分としてはもっと良くしていきたい部分が沢山ある。

今後は、NPOでの活動を少しでも分かりやすく皆様に知っていただけることを意識して作るようにしていきたい。



いただいたお花



10月の行事のお知らせ

・都市農業を考える連続講座

第2回 消費者の動向と都市農業

日時：2012年10月6日 14時～16時

講師：福山市農業協同組合理事

佐々木 重綱さん

場所：本NPO集会所

佐々木さんは週1回の産直市から始まって、この8月からは毎日の開催にこぎ着けられました。また、経営としての都市農業を可能にするために芋の栽培や焼酎の製造などの取り組みをされています。そうした取り組みのなかから、都市農業の課題や消費者の動向などのお話をさせていただきます。

・不要品を工夫して生活を豊かに

日時：2012年10月3日 14時～16時

アドバイザー：藤原スエ子さん

場所：本NPO集会所

藤原さんは、不要品と思われるものにさまざまな工夫を加えて生活を楽しくしているのを見ています。皆様の家に眠っている不要品にちょっと工夫を加えてみませんか。きっと生活が豊かになるのではないのでしょうか。